

安全人報誌

安衛委 No117
平成23年9月5日
安全衛生推進委員会

全国労働衛生週間

全国労働衛生週間は、国民の労働衛生に関する意識を高揚させ、

事業場における自主的労働衛生管理活動を通じた労働者の健康確保等を目的に実施されてきました。

昨年は熱中症等の異常温度条件による疾病の多発により六二〇人の増加となりました。一般定期健康診断の結果、何らかの所見を有する労働者の割合は増加を続けており昨年は五二%が有所見者となっております。

本週間に契機に健康保持・増進等の重要性についてさらに認識を深め、心身ともに健康で、誰もが安心して働けるように健康管理に努



一〇月一日〜七日まで本週間
九月一日〜三〇日まで準備期間

秋の全国交通安全運動

九月二一日〜三〇日までの十日間秋口の日没時間が急に早まるとともに、夕暮れ時や夜間には重大事故に繋がるおそれのある交通事故が多発すること、シートベルト非着用死者数が増加に転じたこと、重大事故の原因となる飲酒運転による悲惨な交通事故が依然として後を絶たないことから、次の三点を運動の重点とする。

○夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
○全ての座席のシートベルト着用の徹底
○飲酒運転の根絶

めたい
ただいま
思いま
す。

田村警察署管内
での飲酒運転検
挙率が高いので
注意しましょう



健康管理教室

船引町清水

医院理事長

清水敬介先生

に定期健康診

断結果に基づ

いて、個別指

導をして頂きました。

指導を受けられた方や、定期健康

診断の結果要精検となっている方

は、早めの治療を行い悪化させな

いようにしてください。

自分の身体は自分で管理し、最悪

の状態になるのを防ぎましょう。

各現場での安全対策又は

ヒヤリ体験談

今回は維持管理課長小石沢忠夫さん
にヒヤリ体験談を投稿頂きました。

維持管理業務に携わって十数年にな
りますが、その中でも道路維持管理の
作業中に、ヒヤリとしたことやハット
したことを紹介いたします。

一つ目は、交通誘導員を依頼しないで
自社で交通誘導を行っていた時です。
作業内容は、路肩盛土だったと思いま
す。作業を始めるのに交通規制を始め
たところ、自動車の運転手が前方を見
ていなかったのか誘導員に気付かず

進入したため、自動車に轢かれそうにな
りつつさによけたそうです。後で誘導員
の方に聴いてみると、自動車は止まっ
てくれるものだと思っていたそうです。

もし、交通事故になっていたらと思うと
ヒヤリとしました。これも確認の大切さ
だと思いました。

二つ目は、車道に跳ね出していた枝木を
除去する作業中のことです。作業員の方
が立木に登ってチェーンソーで伐採を開
始しようとした時、下の作業員から自動

車が来るので切らないでと、合図をした
はずなのですが、上の作業員は切っても
いいと勘違いをして、チェーンソーで枝
木を切断してしまいました。その時自動

車が来てしまい、フロントガラスに落ち
てしまいました。驚いた運転手さんは急
ブレーキをかけて停止しました。運転手
さんは女性の方だったので、ビック

リして青ざめた顔をしていました。私は
すぐに運転手さんに謝り、そして自動車
にキズが無いか確認してもらい、キズが
無かったので許してもらいました。

この事故も、合図と確認
がしっかり出来ていれば
起きなかつたと思いま

す。しっかりと合図をし、はつ
きり確認をする。その事
によって事故を未然に防

ぐ事が大切だと思います

